



基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とこころをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

ジェイアール・イーストユニオン
 発行者 菅野 一位
 編集者 教 宣 部
 〒105-0021
 東京都港区東新橋 2-8-28
 TEL(J R) 057-7333
 TEL(NTT) 03-6452-9687
 ホームページ検索
 「J R Eユニオン」

ジェイアール・イーストユニオン
「第8回中央委員会」開催!
「人への投資」から「JR東日本の未来づくり」へ
2022春季生活闘争を「ONE TEAM」で取り組もう!

「第8回中央委員会」は、2月14日、品川区立中小企業センターを本会場に、各地方本部(新潟・仙台)をリモートでつなぎ、来賓を含め約30名の参加者で開催された。委員長には関東地協の高橋中央委員が選出された。

質疑応答では6名の中央委員、特別中央委員から事前に質問があり、2022春季生活闘争、安全の確立、現業機関における柔軟な



菅野中央執行委員長

【挨拶要旨】

中央委員会にご参集の委員の皆さん大変ご苦労様です。今中央委員会も第6波の影響により、リモート開催ということでお願

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めて早2年が経過しました。そのような中で安全輸送の遂行や感染防止、JR東日本労政への民主化活動など、日夜ご精励いただいている組合員の皆さんに心より敬意を表します。

この間の緊急事態宣言による人流の抑制は、生産性を停滞させ08年のリーマンショックに匹敵する激しい落ち込みを経験し、雇用と賃金への影響も甚大となりました。昨秋には感染拡大がひとまず収まり経済が動き始めたこと

で、年末年始輸送を含めたJR東日本の第3四半期の決算は8四半期ぶりの

働き方等施策について、交渉の進め方、2022年3月ダイヤ改正、組織現状からの運動の在り方等、当面する活動方針を全体で確認した。

菅井事務局長の総括答弁の後、提案された各議案、委員会スローガン、委員会宣言は満場一致で承認され、菅野中央執行委員長は「団結がんばろう」で本委員会は成功裡に締めくくられ、「JR東日本の未来づくり」に取り組むことを確認した。

黒字を達成しました。しかし、2021年度累計を見れば前年度に引き続き赤字ですが、赤字幅は縮小する形となってきました。その矢先再び第6波の襲来を受け、しばらくは一進一退が続くとおもわれますが、ワクチンの3回目接種が進み治療薬の普及も見通しが出てきていることから、新型コロナウイルス感染は収束に向かうと確信しています。

コロナ禍の出口はすぐそこまで来ています。組合員、職場の仲間の皆さん、そしてJR連合に集う仲間、皆さんと団結をして、この難局を乗り越え働き方等からの反転攻勢に向け

に危惧される重要な課題であると認識しています。現場で働く社員が施策成功の鍵であることは間違いありません。人材育成、技術継承について本音で協議し、労使が躊躇なく共にJR東日本の安全文化を築く取り組みを展開します。

二点目は2022春季生活闘争です。今春闘での目標は大きく二つあります。一つは「ONE TEAM」での闘いです。JR連合傘下が一体となって創り出すことで、このコロナ禍からJRグループ・JR産業全体が抜け出すための反転攻勢に「JR連合・ONE TEAM」でつなぐことです。

二つ目は「人への投資」として、JR東日本の将来を担う人材への投資となるベアの獲得です第3四半期は黒字を見出すことができました。働き方改革、今後の施策完遂にはここで社員への投資がJR東日本の将来に絶対必要である観点から、今春闘で「ベア10000円」を掲げた闘いを提起します。20

年以上賃金が上がっていない先進国は日本だけです。働く青年(国民)を大事にしない国に未来はありません。また、自衛は何かしませんが、変えようとする意志を持つことが先決であり、行動で示すことが今春闘の意義であると連合も訴えています。企業

も同じです。JR東日本・東日本グループで働く社員からの期待は小さくないと思います。社員を大切にしたいJR東日本の未来づくり春闘として、今春闘の取り組みについて真摯な議論をお願いします。

三点目は労働組合の位置づけと意義です。労働組合の必要性はこの間幾度となくいろいろな場所ですべてきてきました。今年JR連合が30周年を迎えます。皆さんは30年前のJR連合発足を覚えているはず

です。私たちイーストユニオンも、この組織の原点を思い起こせば29年目となります。これまでの組織の歴史には様々な流れがありますが、原点は何一つぶれず今日まで私たちがJR連合の中で共に運動を築いてきた歴史はしっかりと刻まれています。その意義を皆さんには改めて確認してほしい。そしてこのJR東日本で働く職場の仲間にもう一度伝えてほしい。あたり前の主張であたり前の運動を労働組合として実践してきたのは私たちだけです。それは歴史が証明しています。これまで危険し警鐘してきたことが、今の会社内で起きています。今のJR東

日本は国鉄改革となったあの時と同じです。この改革をするのに社員が黙っているわけにはいきません。そういった歴史を正しく見た中で、「変革2022

7」での究極の安全、人材育成、技術継承、柔軟な働き方、組織の再編といった施策をきちんと完遂させなければなりません。その為には「真の企業内労働組合」である私たちの経験値と知識と力が絶対的に必要です。会社があたり前であるなら今が最後のチャンスです。組合員、そして目を向け理解し支援してくれている職場の仲間の皆さん、ぜひ「会社と共に！」JR東日本の未来づくり改革に取り組みましょう。

四点目は、今年第26回参議院議員選挙が7月に行われます。この間私たちの組織をご支援ご声援していただいた「川合孝典参議院議員が比例から挑戦いたします。これまでの感謝に応え必勝に向けて共に取り組みたいと思っておりますので、ご家族を含めご支援ご協力をお願いいたします。また、滋賀県知事「三日月大造」知事も選挙を迎えます。遠方にはありませんが、併せてのご支援をお願いいたします。

JR東日本の中で私たちがここまで残ってきた意味を実感し、その意義を訴える運動の展開を強く望みます。JR東日本はもとよりJR産業に集うすべての仲間が寄り添い、心と力をあわせ安心ある未来を切り開いていきたいと思います。

「来賓の皆さま

JR連合

宮野勇馬企画部長



安全について

2005年入社福知山脱線事故の年である。あのような悲惨な事故は二度と起こしてはならない。JR連合も重大労災ゼロを掲げているが、4名の協力会社の方が亡くなった。また、危険な事象が発生している。ルールがたっさんあるが守られるルールにならなければならない。コロナ禍で会社は様々な施策を出してくるが、安全面をしっかりと確認しながら取り組む。

組織の充実強化

厳しい時こそ労働組合の存在価値を問われる。コミュニケーションを取り組合員に寄り添った運動が大切である。JR連合86000名。数は組織の力の基礎である。東日本のように未加入者が多数は異常事態である。JR連合は責任産別として健全な労使関係を創る。5月18日結成30年を迎える、10月6日に記念行事を行なう。JR各社の社長、国土交通大臣を招待する。盛大な会としたいのでご協力をお願いします。

2022春闘について

政治活動

昨春秋の衆議院議員選挙の協力を感謝する。三日月滋賀県知事の三選目立候補表明、遠方ではあるがご支援をお願いします。

かわいたかのり

参議院議員(オンライン)



コロナが随分長引いているが、皆さん方はご苦労が多いと思う。JR連合の皆さんと連携を取らせたい。JR労働者の皆さんがコロナ禍でどう向き合っていくか。JR労働者の課題をどのように解決していくか。

コロナが始まって2年でJR経営が甚大な影響を被っている。労働者の雇用に影響が出ないよう働きかけている。厚生労働省をはじめ各省庁に20回以上働き掛けを実施した。雇用を守る。会社を守る。厚生労働省に対し雇用調整助成金は今年3月末までであった。4月以降は白紙の状態であった。オミクロン株がこのような状態では正常な経営状況には戻れないということ。延長を申し入れた。また、給与補償、学校休校発生時の補償を申し入れた。困ったときは気軽に事務所に連絡してほしい。

ウィズコロナの中で経済をどう回していくか。政府に提案している。ワクチン接種が進んでいる状況

でいつまでもこのような状況では潰れてしまう企業が出てくる。人の移動をどうしていくか。そろそろ真面目に考えなければならぬ。

昨年の衆議院議員選挙小選挙区で全ての選挙区で当選。比例代表などで当選できた。野党が議席を減らす中でギリギリ生き残ることができた。我々の改革の正当性が国民に理解されたと思う。来る参議院議員選挙にもしっかりと取り込む。国民民主党連の無いところに結成させていく。

再来週から参議院予算委員会が始まる。その中でJRの皆さんがどういったことに向き合っているか。カーボンニュートラルや、公共交通機関としての問題に取り組む。

田村まみ 参議院議員(オンライン)



日頃からJR連合の皆様を支えていただき感謝申し上げます。通常国会が始まりました。厚生労働委員会、予算委員会、消費者問題特別委員会を担当する。カスタマーハラスメント、エッセ

シヤルワーカー対策、コロナ禍での労働者、企業の支援に取り組み。

J R が社会のインフラとして厳しい中で事業を続けていることをしっかりと訴える。G O T O トラベルの持ち方について今までのままではだめである。経営、雇用に資するようなものになければならない。

交運共済

東日本事業本部

松井正義事業本部長
(オンライン)



本来ならこの時期7月期改定の推進委員会を開催していた。運営委員会も昨年一昨年と書面開催となった。2023年7月1日こくみん共済(全労済)に移行する。協力団体の括りが課題。協力団体に属さない個人加入の問題など、今後関係団体のみなさんに説明を実施しご理解を得たい。ご協力をお願いしたい。

メッセージ

J T R E C 労働組合
執行委員長 鈴木 光敏様
J R 連合加盟各単組
執行委員長様

質問事項



高橋佳昌議長

2022春闘について

・新型コロナウイルス感染症が J R 産業の持続的成長を阻んでおり、さらには東日本存亡の危機にまで及んでいます。これまで2年以上にわたり新たな生活様式の実践が求められ、また感染拡大期を迎えた今日、再度、不要不急の外出自粛が要請されるなど、人々の移動は大きな制約が課せられ続けています。

鉄道は公共機関として大幅な減便を行わず、通常運行を継続してきたが、とりわけ新幹線、在来特急をはじめとした中長距離の鉄道利用者は激減し、加えて鉄道利用者の減少に伴い、ホテル、物販、飲食等 J R 東日本グループ企業も大幅な減収に陥っています。

企業と労働組合に課せられた最大の使命は言うまでもなく組合員の雇用の維持であり、現状の危機的

な雇用情勢を踏まえ、2022 春季生活闘争においては、グループ全体での雇用維持・創出にむけた取り組みを最重視し、グループ内で人材を確保していくための環境整備に、労使の英知を結集して取り組むことが J R イーストユニオンの最重要課題です。賃金は最大の労働条件ということをお忘れすることなく柱に据えてほしいと思えます。

・第3四半期決算では単体・連結ともに過去2番目に低い営業収益・運輸収入となりましたが、セグメント別では運輸事業、不動産・ホテル事業は増収増益と発表しました。昨年10月の360億円の赤字から1600億円の赤字への下方修正、J R 東日本発足後初となる2期連続の最終赤字の業績予想に変更はありませんでした。私たちが勤務時間のみな

らずプライベートでも新型コロナウイルスの感染拡大防止に努め、業務においても安心してご利用いただけるよう様々な取り組みをおこなったことで、お客さまのワクチン接種が進み、感染予防対策をしてご旅行を再開するにあたり J R 東日本を選んでいただ

た結果であります。一昨年来の現場社員の頑張りに応えるためにも連合・J R 連合の春闘方針に基づき要求し、交渉に臨んでいただくと思います。

・各駅では、コロナウイルス感染拡大により移動が制限され収入減になった事、eチケットを進める事により非接触でのキップの購入ができる等によりみどりの窓口が閉鎖になっています。今後雇用不安にならないよう組合として対応をしなければなりません。また、春季生活闘争での労働条件向上の取り組みが大切と考えております。

・2022年3月ダイヤ改正について
・お客さまと社員の安全確保について
・ジョブローテーションについて
・青年女性委員会活動について
・定年延長について

2022 春季生活闘争方針

- 賃金引き上げについて
- 定期昇給を実施し、その際の昇給係数は4とすること。



第3号議案

仙台地本執行委員長 藤勝彦氏の本部中央執行副委員長就任について

※申6号2022年度賃金引上げについて申7号諸労働条件改善の要求について

2月14日第8回中央委員会終了後申し入れを実施しました。

回答補足

諸労働条件について

- 定年年齢65歳、70歳まで働く環境の整備について
- 定期昇給係数撤廃について

3. 回答期限

上記申入れに対する回答期限を、令和4年3月18日までにすること。

- 雇用について
社員及びグループ会社社員の雇用を約束すること。
- 2022年4月1日の基本給を改定し、その改善額は1000円とすること

